

おもな討議から

《経過報告》

◎執行委員の専従1人欠員は、「専従役員は原則として1人は女性」というしぼりがあるからではないか。改善できるのであれば組織機構等検討委員会で議論し改善すべきだ。

→2年任期を1年任期に変更することも検討している。

原則女性がふさわしいが、必ずというしぼりはない。

◎日教組前委員長の週刊誌報道について、組合員に本部から情報が出されなかった。執行部の考えは。

→週刊誌報道に対する日教組見解については、10月13日に日教組から文書で示されている。その内容は、「金銭については監査も通っているので報道は事実ではない。個人的なことに関しては公式な見解は出すものではない。」というものである。

◎連合メーデーについて、「平和憲法を守れ」というコールがなくなったと思うが、今年のメーデーではどうだったか。

→確認したところ、去年はあったが、今年はなくなっていた。大事なことであり、意図はないと思うが今後気をつけてみていく。

◎部活動引率のレンタカー使用について、職員会議で校長から話があったが、ハードルが高い。小さい学校ほど使いたいが、実際使えるところは少ないのではないか。他の学校の様子も聞きたい。通達にあたって予算的などころはどうか。

→県は、レンタカー使用を積極的にすすめるものではないという立場である。学校裁量で行っていた場合、レンタカーで万が一事故等にあった場合、教職員が不利になるので規則に則って認めるということ。使いにくさについては現場からの意見をいただきたい。

◎高校再編について、県議会や商工文教委員会でも質問をしてもらいすすめてきている。

→岩教組、自治労とも連携してとりくんでいる。県議会の力も大きいですが、市町村の議会の動きが重要。

《東日本大震災津波からの復興へのとりくみ》

◎被災地にある高校になかなか正規の教諭が来ないため現場は疲弊している。臨採者の採用を働きかけてほしいのと同時に、正規の教諭が被災地に赴任するためのとりくみにも力を入れてほしい。

